

4月6日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトンは確認されませんでした。
- ・低密度ながら、貝毒の原因となる有毒プランクトンが確認されました。
- ・小型珪藻類は低密度でした。
- ・**播磨灘南部沖合の広い範囲でノクチルカ(ヤコウチュウ)の着色域が確認されました(最高細胞密度 53細胞/mL; 定点 KA7)。付近の魚類養殖や活魚の運搬、漁船の航行には十分ご注意ください。**

表：2022年4月6日 有害・有毒プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	At complex (旧) <i>A. tamarense</i> (旧称アレキサンドリウム・タマレンセ)	At complex (旧) <i>A. catenella</i> (旧称アレキサンドリウム・カテナラ)
KA23	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.05	0
KA2	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.25	0
KA3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.20	0
KA4	0	0	0	0	0	0	0.30	0
	10	0	0	0	0	0	0.05	0
KA5	0	0	0	0	0	0	0.05	0
	10	0	0	0	0	0	0.05	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.05	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.10	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0.05	0
HK1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0.05	0

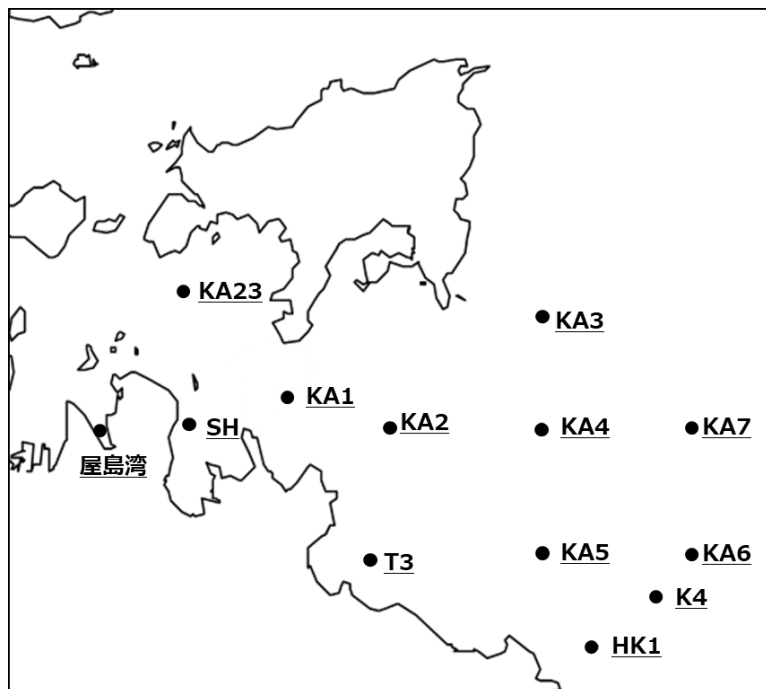
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL